

活躍中の団員に聞きました



若い世代も活躍しています！

—入団のきっかけを教えてください

地域のために何か役に立ちたいと思っていたときに、知人から消防団の話聞いて入団を決めました。

—学業との両立はできていますか

訓練などは授業のない土日や夜間がメインなので、どちらも全力で取り組むことができます。消防団の活動証明書は、就職活動のPRに使えるようです！

—区民の皆さんへメッセージをお願いします

消防団というと厳しそうなイメージを持っている方もいるかと思いますが、先輩団員が丁寧に優しく指導してくれます。また、広報活動や器具点検など女性が活躍できる場が多くあります。少しでも興味がある方は、入団をお待ちしています！

大学生



鈴木麗さん

仕事との両立もバッチリです！

—入団のきっかけを教えてください

以前、近所で火事が立て続けに起きた際、区内の消防車が出払っており、他区から消防車が駆けつけていました。このとき消火・救助活動などを行う消防団の重要性を認識し、入団を決めました。

—仕事との両立はできていますか

仕事と平常時の活動が重なったときは、仕事を優先し、無理のない範囲で参加しています。活動中にけがをした際の補償制度なども手厚く、安心して両立することができます。

〈安心して活動できる！手当や報酬を支給〉

補償 治療の費用や休業・介護の補償など

報酬 年4万2500円から。出動1回4,000円(災害活動に従事した場合は8,000円)

—区民の皆さんへメッセージをお願いします

火災や大規模災害はいつ起きてもおかしくありません。「誰かが助けてくれる」という認識を改めて、地域の方々の安全安心を守る立場として、一緒に活動してみませんか。

漬物屋



星野雅史さん



活動を紹介

平常時



住民を守るための訓練

火災現場での活動を想定して訓練をします。



防火・防災指導

地域の方に防火・防災指導や応急救護指導を行います。



広報活動

地域の行事に参加し、火災予防などの呼び掛けを行います。

発災時



火災発生時は、消火活動や救助活動のほか、鎮火後の警戒活動を行います。地震発生時は、安否確認や救助活動なども行います。

あなたとともに このまちを守りたい

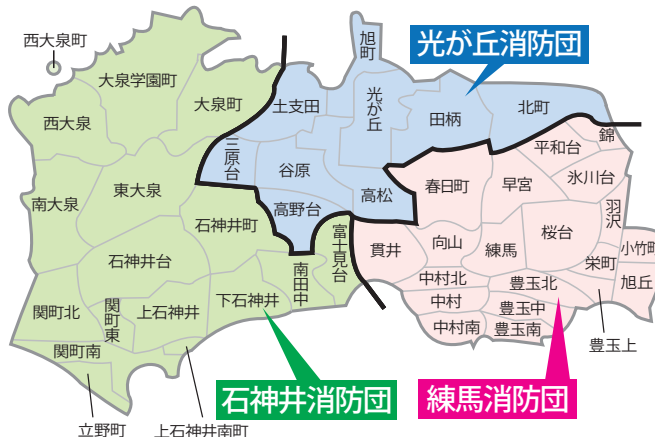
光が丘消防団長／加藤正八

消防団は「自分たちのまちは自分たちで守る」という強い信念のもと、さまざまな職種の方が消火活動や防災指導などに取り組み、地域に貢献しています。また、活動を通じて幅広い世代の団員や地域の方とのつながりを深め、災害時に役立つ技能も身に付けることができます。災害に強いまちを目指して、我々と一緒に自分たちのまちを守りましょう。



入団やお問い合わせはお近くの消防署へ

▶ 区の担当: 防災調整係



●練馬消防団

練馬消防署 ☎3994-0119

✉ nerima2@tfd.metro.tokyo.jp

●光が丘消防団

光が丘消防署 ☎5997-0119

✉ hikarigaoka2@tfd.metro.tokyo.jp

●石神井消防団

石神井消防署 ☎3995-0119

✉ syakuji2@tfd.metro.tokyo.jp